

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
分担研究報告書

慢性疼痛診療システムの均てん化と
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 松田 陽一 大阪大学大学院医学系研究科 講師

研究要旨

本研究の中で、慢性疼痛患者における発達障害の関与に関する研究を行った。当院疼痛医療センターを受診し研究参加の同意が得られた20歳以上の慢性疼痛患者に対して、治療開始前、治療開始後3ヶ月、6ヶ月に発達障害に関する質問紙（自閉症スペクトラム指数、成人期のADHDの自己記入式症状チェックリスト）及び痛みセンターにおける通常の診療で行っている評価（身体所見、身体機能、痛みの程度、痛みと関連する可能性のある心理的因子を評価する質問票（痛みの破局化思考スコア、不安とうつの調査票）QOL調査票（EQ-5D））を実施した。実施した質問紙等のデータは今後代表施設に提供・集積し、1）慢性疼痛患者の特徴（一般成人の値と比較）2）治療前後の比較（対応のあるt-検定）3）治療成績良好群と不変群の比較（ノンパラメトリック検定）4）発達障害の可能性の有無と治療成績、および関連因子（相関解析、回帰分析）について解析する予定である。

A．研究目的

集学的痛みセンターを受診する慢性疼痛患者における発達障害の実態を明らかにする。

B．研究方法

当院疼痛医療センターを受診し研究参加の同意が得られた20歳以上の慢性疼痛患者に対して、治療開始前、治療開始後3ヶ月、6ヶ月に発達障害に関する質問紙（自閉症スペクトラム指数、成人期のADHDの自己記入式症状チェックリスト）及び痛みセンターにおける通常の診療で行っている評価（身体所見、身体機能、痛みの程度、痛みと関連する可能性のある心理的因子を評価する質問票（痛みの破局化思考スコア、不安とうつの調査票）QOL調査票（EQ-5D））を実施する。慢性疼痛に対する治療は、各痛みセンターで通常の治療を行う。実施した質問紙等のデータは代表施設に提供・集積し、1）慢性疼痛患者の特徴（一般成人の値と比較）2）治療前後の比較（対応のあるt-検定）3）治療成績良好群と不変群の比較（ノンパラメトリック検定）4）発達障害の可能性の有無と治療成績、および関連因子（相関解析、回帰分析）について解析する。

（倫理面への配慮）

大阪大学倫理委員会の承認（19199）を受けて実施した。

C．研究結果

2019年9月4日に大阪大学倫理委員会の承認を得た。その後、質問紙の実施体制を整えて、データの取得を開始した。

D．考察

今後の取得データを解析して結果について考察していく予定である。

E．結論

次年度も引き続き、対象患者に対して質問紙等のデータ取得を進める予定である。

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G．研究発表

1. 論文発表

松田陽一．慢性腰痛に対するインターベンショナル痛み治療の役割と注意点．ペインクリニック 2019；40(4)：S10-14．
高橋亜矢子，植松弘進，大迫正一，博多紗綾，鈴木史子，松田陽一．超音波ガイド下耳介側頭神経ブロックによる三叉神

経第三枝急性期帯状疱疹関連痛の治療経験 . 日本ペインクリニック学会誌 2019; 26(1): 44-47 .

2. 学会発表

Matsuda Y, Faruq MO, Uematsu H, Takahashi A, Yamamoto S, Hakata S, Fujino Y. A Randomized Comparative Study of the Utility of Laser-guided Ultrasound Probe in Ultrasound-guided Peripheral Nerve Block for the Novices. Annual ESRA Congress 2019.

植松弘進, 博多紗綾, 大迫正一, 佐藤ゆかり, 長田多賀子, 溝渕敦子, 高橋亜矢子, 松岡由里子, 藤野裕士, 松田陽一 . 変形性膝関節症に伴う膝痛に対する超音波ガイド下伏在神経パルス高周波療法の有効性: 無作為化比較試験 . 日本ペインクリニック学会第 53 回大会 2019 .

高橋亜矢子, 博多紗綾, 大迫正一, 佐藤ゆかり, 長田多賀子, 植松弘進, 溝渕敦子, 松岡由里子, 藤野裕士, 松田陽一 . クロナゼパムが肢端紅痛症による両足の痛みに対して有効であった一例 . 日本ペインクリニック学会第 53 回大会 2019 .

佐藤ゆかり, 植松弘進, 高橋亜矢子, 溝渕敦子, 博多紗綾, 藤野裕士, 松田陽一 . SCS がリハビリテーション促進に有効であった亜急性期 CRPS 症例 . 日本ペインクリニック学会第 53 回大会 2019 .

長田多賀子, 佐藤ゆかり, 植松弘進, 高橋亜矢子, 博多紗綾, 大迫正一, 溝渕敦子, 松岡由里子, 藤野裕士, 松田陽一 . 上顎神経パルス高周波法 (頬骨上法) でアロディニアと発作痛が改善した三叉神経領域帯状疱疹後神経痛の一例 . 日本ペインクリニック学会第 53 回大会 2019 .

壬生彰, 植松弘進, 松田陽一 . 難治性慢性

痛患者に対する運動・生活指導の効果 . 第 12 回日本運動器疼痛学会 2019 .

H . 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし